

公益財団法人京都市芸術文化協会
2019年度 事業計画

I 自主事業

会員が企画・運営する当協会の基幹的な事業として、事業を通じて、各分野における会員の拡大と芸術文化の普及・振興を図ります。

1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

(1) 機関誌『藝文京』の発行

協会会員をはじめ、芸術文化関係者・関係機関、公共施設等を対象に、機関誌『藝文京』を年2回発行します。また、会員同士又は会員と外部の方を招いた一般公開の対談を芸術センター内で実施し、対談内容を機関誌に掲載します。

(2) 協会ホームページの運営

協会ホームページの運営を通じ、自主事業や会員催事情報等の告知、資料の公開など、芸術文化に関する情報発信を行うとともに、協会リーフレットと連動させ、協会の魅力を広く発信します。

2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

(1) 各種芸術文化事業の実施

① 京の文化絵巻

協会の基幹事業である「『^{みやこ}京の文化絵巻』舞台事業」と「藝文京展」を一体的な事業として隔年開催する。

開催日	事業名称	内容・出演等	会場
2020年度	京の文化絵巻 I (舞台)	藝文協会員から異分野交流の事業プランを募集 (企画・交流委員会で選定) ※2020年度に実施	調整中
12月	京の文化絵巻 II (展示)	「工芸」分野を対象とした全国公募展 ※これまでのテーマ 第1回：工芸（装飾と暮らし） （入賞7点／入選33点） 第2回：平面（現代の平面～ひかりとかたち～） （入賞7点／入選33点） 第3回：文字（白と黒の調和） （入賞7点／入選25点） 第4回：立体造形（フォームとフィギュア） （入賞6点／入選23点） 企画展「藝文京展EX～つなぐ～」(出展作家17名)	京都芸術センター ギャラリー北・南

② 京都ビッグ・バンド・フェスティバル

実施日	事業名称	内容・出演等	会場
2月2日	第44回 京都ビッグ・バンド・フェスティバル	出演：京都府吹奏楽連盟所属団体	京都コンサートホール大ホール

(2) 各種芸術文化事業の奨励(後援・共催)

会員をはじめ、広く芸術文化の普及・発展に寄与する事業に対して後援を行うとともに、会員が実施する事業に対して共催の支援を行います。

3 芸術文化に関する教育及び普及

(1) 子ども芸術体験教室

子ども芸術体験教室を、夏休みの時期に実施します。

開催日	事業名称	講師等	会場
調整中	夏休み 邦楽体験教室	講師：邦楽分野会員 ※成果発表：日程等調整中	京都芸術センター 大広間ほか
調整中	夏休み 邦舞体験教室	講師：邦舞分野会員 ※成果発表：日程等調整中	京都芸術センター フリースペース
7月30, 31, 8月1, 6, 7 日	夏休み 能楽体験教室	講師：公益社団法人能楽協会京都支部 ※成果発表：8月8日、大江能楽堂	京都芸術センター 大広間ほか

(2) 藝文京芸術教室

小学生以上を対象とした多岐にわたる芸術分野に出会える芸術体験教室を実施します。

開催日	講師等	会場
調整中	講師：各分野会員	調整中

4 芸術家等の育成及び顕彰

(1) 芸術家等の育成

次代を担う芸術家育成等のため、発表の機会を創出します。

開催日	事業名称	内容・出演等	会場
調整中	京都いけばなプレ ゼンテーション 2019	華道分野会員による「いけばなの日」イベ ント	京都芸術センター フリースペース ほか

(2) 芸術家等の顕彰

当協会に所属する会員を対象とし、京都市芸術文化協会賞として、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を、また、同新人賞として、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を、それぞれ表彰します。

5 その他会員関連活動

(1) 総会・懇親会

2019年7月5日（金）に会員総会・懇親会を開催します。（会場：京都ホテルオークラ）

(2) 会員増加に向けた取組

協会リーフレット及びシンボルマーク・ロゴタイプを作成し、協会ホームページとも連動させることで、協会の魅力を広く発信するとともに、会員の増加を目指す。

Ⅱ 受託・共同主催事業

京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「第2期京都文化芸術都市創生計画（平成29年3月策定）」や「京都文化芸術プログラム2020+（平成28年8月策定）」に基づく事業を受託及び共同主催し、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して事業を実施します。

1 市民狂言会（受託）

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、年4回、京都観世会館を会場に開催します。（6月7日、8月22日、12月6日、3月6日）

※ 前売2,500円 当日3,000円 年間席札8,000円 （8月22日のみ高校生以下500円）

2 学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組

（京都文化芸術プログラム2020+関連事業＜重要事業1＞）

（1）ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業（受託）

京都市内の小・中・総合支援学校、幼稚園、保育園（所）、児童館、インターナショナルスクール等を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行います。（約50校で実施）

（2）ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業（受託）

京都市内の中学生を対象に、和の文化を体感できる場所（能楽堂や歌舞練場等）において、伝統芸能を鑑賞する事業を実施します。（2日4公演）

（3）子ども能楽大連吟（仮）（受託）＜新規＞

能楽の謡を通して子ども自身が主体となり、自ら日常的に能楽を楽しむことで、能楽に関連した伝統産業や伝統文化に触れ、京都の伝統文化の未来の「担い手」、「支え手」の形成へと発展させることを目的とした「子ども能楽大連吟（仮称）」を実施します。

開催日	内容	会場
11月23日	京都市内の中学生の健全なる青少年のコミュニケーション能力養成を目指して、大勢で能楽の謡「高砂」を謡う。 ※稽古は9月から5～6回、各中学校で開催予定	調整中

3 国立京都伝統芸能文化センター（仮称）の創設とそれに向けた先駆的取組の実施

（京都文化芸術プログラム2020+関連事業＜重要事業3＞）

（1）伝統芸能文化創生プロジェクト（共同主催）【後掲】

4 「東京オリンピック・パラリンピック」等を契機とした国際的な祭典の開催

（京都文化芸術プログラム2020+関連事業＜重要事業9＞）

（1）KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2019（共同主催）【後掲】

（2）KYOTO STEAM—世界文化交流祭—（共同主催）【後掲】

5 アーティスト・イン・レジデンスの強化など世界のアーティストが集まる文化芸術のハブを目指した環境整備（京都文化芸術プログラム2020+関連事業＜重要事業11＞）

（1）アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（受託）【後掲】

6 助成関係事業

- (1) 京都市助成金等内定者資金融資制度 融資窓口業務
- (2) 京都市芸術文化特別奨励制度 募集受付業務
- (3) 文化芸術顕彰制度 表彰業務

7 その他

- (1) 京都市新規採用職員研修
京都市の新規採用職員の研修として、茶道の講義と体験を実施します。
- (2) 京都市自治記念式典オープニングセレモニー

Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術関係者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターの運営を行っており、平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として管理運営を行っています。

【活動センター機能】

1 伝統的芸術の継承・創造事業

(1) 明倫茶会

学術、芸術、文化、産業等の様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を開催します。(料金：1,000円)

開催日	席主(案)	内容
調整中	萩原朔美(映像作家、演出家、前橋文学館館長)(打診中)	調整中
調整中	畠中光享(日本画家)	調整中

(2) 伝統芸能文化創生プロジェクト(再掲)

(五感で感じる和の文化事業(2009~2016年度)から改称)

国立京都伝統芸能文化センター(仮称)の機能を強化推進するために、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(以下「TARO」という)を設置し、伝統芸能や文化に携わる他機関・組織、実演家、職人、研究者とリサーチを通してネットワーク構築を行います。また、文化庁や東京文化財研究所など構築したネットワーク先と連携し、次の事業を重点的に行います。

- ① 伝統芸能文化に係る相談・対応
- ② 関係機関のネットワーク構築(伝統芸能文化をめぐる現状や課題を研究機関やネットワーク先と共有。シンポジウム&総合イベントの実施)
- ③ 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム

昨年度に引き続き、TAROは伝統芸能文化創生プロジェクトの一環として、伝統芸能文化の保存・継承・普及を目的とした共同プログラムを募集し、採択した事業については、TAROと共同で実施します。

共同プログラムの採択は3件を予定しており、4月に京都及び東京にて説明会を実施します。2月には採択した共同プロジェクトの中間報告会を開催する予定です。

このほか、次の事業を実施します。

事業名	備考
講座シリーズ	年2回開催
シンポジウム&総合イベント	2月開催予定
先覚に聴く	年1回開催予定

2 芸術家・芸術関係者育成事業

(1) 京都国際ダンスワークショップフェスティバル2019

昨年に引き続き、ダンスアンドエンヴァイロメントと連携し、国際的に活躍する講師を招き、ダンスワークショップを実施します。テーマは「interlace」。

開催日	講師
4月19日～5月6日	カティア・ムストネン（フィンランド）、ダイ・ジアン（フランス）、キャンディス・マルテル（フランス）、フランチェスコ・スカベッタ（ノルウェー）、坂本公成+森裕子（京都）、柿崎麻莉子（東京）、チョン・ヨンドウ（韓国）、ルイス・ガレー（アルゼンチン）、ホラシオ・マクアクア（スペイン）、合田有紀+野村香子（京都）

① ショーイング

開催日	講師	会場
5月6日	チョン・ヨンドウ（韓国）	京都芸術センター
	ルイス・ガレー（アルゼンチン）	フリースペース

② Youth Tank Project オーディション

プログラム	選考	受入先
京都×スウェーデンダンス エクステンジ	フランチェスコ・スカベッタ（ノルウェー）	ヴィトリケ・センター・フォー・パフォーミング・アーツ
京都×ソウルダンスエクステンジ	チョン・ヨンドウ（韓国）	DOO DANCE THEATER

その他、明倫ボディサロン（身体メンテナンスと情報交換、参加者、講師等の交流を行う場）、ドキュメントアクション（dance+と連携しアーカイブを公開）、スカラシップ制度（専門家からの推薦を受けたダンサーのサポート）も併せて実施します。

(2) トラディショナル・シアター・トレーニング2019 (T.T.T.)

国内外の芸術家・研究者等を対象に、日本の伝統芸能である能、狂言及び日本舞踊に関する基礎知識・技術等を習得してもらうためのプログラムを実施します。

2019年度は、能、狂言及び日本舞踊等のオリエンテーションとワークショップ（7月17日）の後、各コースに分かれトレーニング（7月18日～8月9日）を行い、大江能楽堂で成果発表（8月10日）を行います。

対象	定員	講師	受講料
演劇・ダンスなど舞台芸術に関わる表現活動、または研究活動を行っている者	24名 (日本舞踊・能・狂言 各8名程度)	能：片山伸吾・田茂井廣道・大江信行 狂言：茂山あきら・茂山千之丞・丸石やすし 日本舞踊：若柳弥生	一般90,000円 学生85,000円 ※リピーター割引有

※ プログラム・ディレクター：マシュー・ショアーズ

(3) KAC Performing Arts Program 2019

ジャンルで区切ることが難しい新しい表現や、クロスジャンルの表現を積極的に創造し発信することを目指す事業を以下のとおり実施します。また、各事業実施に合わせて、批評プログラムを実施します。

① Contemporary Dance

(ア) 『living×dead×tree』、『恐怖の拡散』

これまでアーティスト・イン・レジデンスプログラムで海外に派遣したアーティストが滞在先で創作した2作品を、再創作し上演します。

開催日	内容	会場
調整中	『living×dead×tree』 振付・演出：相模友士郎、出演：白井剛、佐藤健大郎、Manuel Rodrigues	京都芸術センター
調整中	『恐怖の拡散』 振付：野村香子、出演：合田有紀、ほか4名	京都芸術センター

コラボレーター：Michael Maurissens（ベルギー／ドイツ、ダンサー・ビデオアーティスト）、Marianne Lindow（ドイツ、ビジュアルアーティスト）、Echo ho（サウンドアーティスト）

② Music

音楽以外の分野のアーティストと新しい音空間をつくり、音楽ファンだけでなく、演劇をはじめ他のジャンルの顧客を呼び込み、客層の拡大を狙う、2本の創作プログラムを実施します。（年2回、京都芸術センター講堂で開催予定）

③ Traditional Performance 「継ぐこと・伝えること」

30, 40代の若手・中堅の実演家たちを取り上げ、トークと実演でその芸能の魅力を伝えます。（年2回、京都芸術センター講堂で開催予定）

④ Cotemporary Theater

3年計画で進んできた演劇計画を終え、これまでの関西の戯曲をとりあげるリーディング公演を行います。（年6～10回開催予定（会場未定））

(4) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2019（再掲）

今回で10回目になる国際舞台芸術祭。10月5日～27日まで国内・海外から先駆的な取組を行っている演出家を招へいし、舞台芸術の祭典を開催します。

京都芸術センターでは、以下の公演と展覧会を実施します。

実施時期	内容	会場
10月25-27日	神里雄大新作「タイトル未定」 *岡崎藝術座主催、KEX関連企画 *春夏にリサーチし創作。出演者を関西でオーディションする予定	京都芸術センター フリースペース
10月18-20日	ラタイ・タウモペアウ（トンガのアーティスト）によるインスタレーション作品	
10月～11月	北朝鮮の開城工業団地をテーマにした韓国のアーティストたちによるグループ展 キュレーター：Carey Park	京都芸術センター 講堂、ミーティングルーム 2等、館内各所

(5) 関西の若手グループ展

開催日	事業名	内容
4月～5月	ニューミュージーション「タイトル未定」	若手グループ展 出展作家：寺岡海、小松千倫

(6) 跳ぶまえに聞け（仮）

アーティストが創作にいたる以前と、創作した後に必要なスキルを養うためのワークショップとトレーニング・プログラムを行います。

3 先駆的・実験的事業

(1) セレブレーションー日本・ポーランド現代美術展ー

ポーランドのAdam Mickiewicz Instituteとの共同主催。日ポの国交樹立100周年を記念した展覧会。二条城、ロームシアター京都、Terminal KYOTOも会場として使用予定。出展作家はポーランド10組、日本11組の全21組の予定。また、同じ出展作家で、ポズナン、シチェチンでも展覧会を開催します。

キュレーター：加須屋明子、Paweł Pachciarek

(2) HUT/CHAT（仮）

誰もが芸術に触れることのできる場として、仮設屋台等を用いたオープン・ダイアログ（部屋の中ではなくアプローチやインフォメーションの活用を予定）。

20周年にむけて関係者へのヒアリングを予定しており、公開が可能なものは、この場を使って公開します。

(3) ニュイ・ブランシュ KYOTO 2019

アンスティチュフランセ関西と共同でニュイ・ブランシュ（白夜祭）を10月5日（土）に実施します。

(4) KYOTO STEAMー世界文化交流祭ー（再掲）

「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマとして、京都の文化資源を活かして文化芸術の新たな可能性・価値を問う新しい形態のフェスティバル「KYOTO STEAMー世界文化交流祭ー」をオリンピックイヤーである2020年春に開催し、創造人材の育成や国際交流・ネットワーク構築・情報発信に京都市と共同して取り組みます。

4 制作・発表支援事業

(1) 制作支援事業（制作室使用者募集）

京都芸術センター制作室の使用者を公募し、審査のうえで1申請につき最長3ヶ月間無料で提供。年2回（3月及び9月）募集します。

(2) Co-program2019

京都芸術センターと共同で行う事業プランを公募し、選出した事業を実施します。

① カテゴリーA:「共同制作」(公演事業) 3件

実施時期	事業名	団体名	内容
9月	ある殉教者、それでも息をし続けている(仮)	三野新 / ニカサン	現代美術のインスタレーション展示空間において行われるジャンル横断性を持った演劇公演
12月	筒井潤 / FFT 国際コラボレーションプロジェクト(仮)	dracom	FFT (Forum Freies Theater、デュッセルドルフ)での筒井潤作・演出『今日の判定』招聘公演(2017)、同市でのリサーチ・語学研修(2018)を経て、2019年度に筒井の新作をFFTと国際共同制作し、デュッセルドルフと京都で上演
調整中	京都ダルクとの共同舞台制作	Akakilike(倉田翠)	特定非営利活動法人京都ダルク(薬物依存リハビリセンター)の利用者と舞台作品を創作するプロジェクト

② カテゴリーB:「共同開催」(展覧会事業) 1件

実施時期	事業名	団体名	内容
1月~2月	「ポスト LCC 時代におけるサイトスペシフィックアート」展(仮)	THE JAPAM TOUR	Yokawa-Nakayasuを含むフィリピン、台湾、日本のアーティスト・コレクティブTHE JAPAM TOURの企画。観光を、芸術を通して再解釈し展示する展覧会。

③ カテゴリーC:「共同実験」(リサーチ、レクチャー、ワークショップ等) 2件

実施時期	事業名	団体名	内容
6月~2月	わたしたちのフリーハンドなアトラス	和田ながら	「地図を読む」「地図に動かされる」「地図帳(アトラス)を編む」という、地図というメディアを軽やかに遊ぶリサーチプログラム
8月	水になる	宙宙(鏑木麻美)	水系を描くリサーチとワークショップ

④ カテゴリーD:「KAC セレクション」(演劇、ダンス、音楽、伝統芸能等の舞台芸術の分野で、発表に限定して支援を行います。)(全件調整中)

(3) U35 創造支援事業 「KIPPU」

京都芸術センター制作室で制作し、ロームシアター京都ノースホールで発表する35歳以下のアーティストを公募し、審査を経て2件を選出。批評の依頼や制作面のアドバイスも行います。

実施時期	採択団体	ジャンル
調整中	オル太(東京)	パフォーマンス「超衆芸術スタンドプレー」(仮)
調整中	お寿司(京都)	ボロレスコ「蒺藜心中」 曾根崎心中を下敷きとしたボロレスコ(バーレスクの語源となった軽妙な芝居の意)

【情報センター機能】

1 芸術文化情報の収集・発信事業

(1) 図書室の運営

センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的とし、センターならではの資料室としての役割を強化します。

蔵書のうち、目的に見合う図書等約5,000冊、ビデオ等約500本を選択のうえ、閲覧に供し、芸術センターで実施する展覧会や公演会等の題材をテーマにした特別企画も開催します。

(2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等のポスター、チラシ等を収集し、年間約700種を掲出します。

(3) 通信紙（京都芸術センター通信）の発行

京都芸術センター事業の広報をはじめ国内外の芸術文化に関する情報を掲載した通信紙を、芸術関係者・機関、図書室、公共施設等を対象に、毎月発行します。また、4月号から紙面・仕様を刷新します。

(4) 京都芸術センターホームページ

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信します。

(5) 京都文化芸術オフィシャルサイト（KYOTO ART BOX）

京都市の文化芸術全般の情報を集約したホームページを運営します。平成27年度より京都芸術センター事業として実施しています。京都文化芸術コア・ネットワークとの連携をはかり、プロジェクトやメンバー実施事業のレポート等を掲載します。

2 教育普及事業

(1) インターンシップ・プログラム

事業単位で募集を行い、より専門性を高め、経験や知識の習得がスムーズな機会となるよう実施します。

【交流センター機能】

1 国際交流事業

(1) アーティスト・イン・レジデンス

国内外の組織と連携し、京都での滞在制作やリサーチ、また京都を拠点とする芸術家等の海外での滞在制作やリサーチ等を積極的に進める事業を実施、支援しています。

ア 【京都での滞在制作】

滞在期間	参加者名	居住国/ジャンル	区分
4月～6月	Yoo Ji Young	韓国/ダンス	エクスチェンジ (Seoul Dance Center)
8月～10月	J Triangular	台湾/美術	公募
9月～10月	未定(公募中)	未定/美術	エクスチェンジ (Australia Council for the Arts)
5月～7月	Marcos Avila Forero	フランス/美術	※展覧会事業として実施 (アンステイチュ・フランセ)
未定	未定	ドイツ(ケルン)/ダンス	エクスチェンジ (KYOTO. Köln /Quartier am Hufen)

イ 【海外での滞在制作】

滞在期間	参加者名	渡航先/ジャンル	区分
8月～9月	きたまり	韓国(ソウル)/ダンス	エクスチェンジ (Seoul Dance Center)
8月～10月	公募中	オーストラリア(シドニー)/美術	エクスチェンジ (Australia Council for the Arts)

(2) AIR Alliance Platform 【Relay Residency Program】

京都の他のレジデンス施設・団体と協働した新たなレジデンス・プログラムを試行します。2019年度はヴィラ九条山、Cite des artis international、京都市と連携し、リサーチに特化した内容を予定。

滞在期間	参加者名	渡航先/ジャンル	区分
10月以降	短期、複数名を予定	フランス(パリ)/未定	派遣(ヴィラ九条山、Cite des artis international、京都市)

(3) Focus 展「タイトル未定」

開催日	内容
7月～8月	フランス人アーティスト、Marcos Ávila Foreroによる展覧会。5月から京都に滞在し、新作を制作し展示する。

(4) アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（再掲）

全国のアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の拠点となるためのプラットフォームを構築し、国際文化交流をより一層加速させ、世界中からアーティストやAIRの情報が京都に集まる環境整備を進めます。

① 情報集約・発信

これまでにネットワークを構築したAIR施設等の情報をまとめてデータベース化し、日本のAIR情報を一元的に世界に向けて発信できる新たなウェブプラットフォームを構築します。

② 調査研究・AIRに関するアーカイビング

これまでの議論の内容をアーカイブ化し、専門家による分析を加えたうえで公開するとともに、AIRプログラムの事例を調査し、紹介します。

③ ネットワーク構築

AIRに関する様々な相談に応じるための窓口機能を設置します。

2 市民及び芸術家相互の交流事業

(1) ICOM 関連展「タイトル未定」

開催日	内容
8月～9月	クリエイションのプロセスとパフォーマンスに着目したプログラム。ICOMに参加する美術館等ではできないタイプのプレゼンテーションに挑戦。 出展作家：阿児つばさ、タカハシ“タカカーン”セイジ、関川航平

(2) 京都芸術センター開設20周年記念事業

てんとうむしプロジェクト（ボランティア・スタッフとつくる展覧会）

(3) みみききプログラム

音に着目したシリーズで実施します。

※明倫レコード倶楽部、Kyo×Kyo×Todayを再構成したシリーズ

ア 明倫レコード倶楽部

開催日	内容	会場
6月30日, 12月14日, 3月14日	SP・LPレコードを使用するレコード音楽鑑賞会を開催 講師：いしいしんじ	京都芸術センター 講堂

イ 京都市交響楽団アンサンブルコンサート Kyo×Kyo×Today

開催日	内容	会場
11月26日	京都芸術センターの会場の雰囲気を活かし、演奏者と聴衆が近い距離で音楽を楽しむ演奏会を、京都市交響楽団との共同主催事業として開催	京都芸術センター 講堂

(4) 明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流事業を行うワークショップを無料で実施します。特に、春、夏、冬に、集中して実施する時期を設け、周知・集客を図ります。

3 地域・学術・産業との連携事業

(1) ボランティア・スタッフ

ボランティア・スタッフは、京都芸術センターの活動をさまざまなかたちで支えています。また、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である、京都芸術倶楽部や古典芸能勉強会、茶の湯サロンいっぷくなどの実施を通じて、センターとボランティアの方々との交流をさらに深めます。 ※ 登録者数：480名（2019年3月1日現在）

(2) 地域との連携事業

開催日	事業名
6月、11月	ペトロフ・ピアノコンサート（番組小学校150周年記念） （主催）明倫ペトロフの会、明倫自治連合会
11月16日～17日	明倫フェスタ（主催）明倫自治連合会

4 ネットワーキング

(1) 京都文化芸術コア・ネットワークの運営

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術コア・ネットワークを運営します。メンバーが企画実施するプロジェクトや月1回開催するサロンのサポートなどを行います。

(2) パートナーシップ／ネットワーク

京都市内外の他機関とのパートナーシップにより連携機能を強化し、幅広いネットワークを構築することを目指します。

※連携機関：東山アーティスト・プレイスマンツサービス（HAPS）実行委員会等

(参考) ギャラリー事業 スケジュール

開催日	事業名	内容
4月～5月	ニューミュレーション「タイトル未定」	寺岡海等による若手作家グループ展
5月～6月	セレブレーション-日本・ポーランド現代美術展	ポーランドのAdam Mickiewicz Instituteとの共同主催。日ポの国交樹立100周年を記念した展覧会。二条城、ロームシアター京都、Terminal KYOTOも会場として使用予定。出展作家21組。 キュレーター：加須屋明子、Paweł Pachciarek
7月～8月	Focus「タイトル未定」	フランス人アーティスト、マルコス・フォーロによる展覧会。5月から京都に滞在し、新作を制作し展示する。
8月～9月	ICOM関連展「タイトル未定」	クリエイションのプロセスとパフォーマンスに着目したプログラム。ICOMに参加する美術館等ではできないタイプのプレゼンテーションに挑戦。
10月～11月	KYOTO EXPERIMENT2019	北朝鮮の開城工業団地をテーマにした韓国のアーティストたちによるグループ展。講堂、ミーティングルーム2等、館内各所を使用予定。 キュレーター：Carey Park
12月	公募「藝文京展」	工芸分野を対象とした公募展を予定
1月～2月	Co-program「ポストLCC時代におけるサイトスペシフィックアート」展	カテゴリーB採択企画。Yokawa-Nakayasuを含むフィリピン、台湾、日本のアーティスト・コレクティブTHE JAPAM TOURの企画。観光を芸術を通して再解釈し展示する展覧会。
3月～4月	20周年記念展	てんとうむしプロジェクト（ボランティア・スタッフとつくる展覧会。10周年の時にスタート。現在は休止中。）で検討中

